

# 委員会の焦点

## 総務生活

### 奈良井踏切着工に遅れ

当委員会に付託された一般会計補正予算案では、奈良井踏切道移設工事委託に関し、1千100万円余を限度とする債務負担行為を追加する提案があり、工事の内容、進捗状況などを質問しました。当初、平成29年4月にJR東海との工事委託の協定を結んで本年度着工の予定のところ、JR東海側の内部調整が遅れ、平成30年1月に第2中山道踏切撤去と奈良井踏切新設を一括協定し、施工は平成30・31年度に行うという内容に変更になったという説明を受けました。

JR東海の要請により宿場脇の線路上にある四つの作馬道を廃止し踏切を一つ新設する計画は、二十年來の奈良井住民の懸念であり、種々の議論を経てこの案に落ち着いた経過があります。踏切増設を一切認めないという国の方針による踏切廃止については、本山・日出塩両区合意も得られ、総額は1億2千万円余の見込みという説明も受け、これを了承しました。



撤去予定の作馬道、踏切新設予定地付近

## 福祉教育

### 通学地区変更審議の参考にアンケート調査

今回の補正予算に、桔梗小・広陵中学校と西小・塩尻中との通学区見直し審議の参考とするため、アンケート調査実施の経費が計上されました。



桔梗小学校へ通う児童たち

現在、桔梗小・広陵中は児童・生徒数が増加しており、今後も増加が見込まれ、このままではプレハブ教室などで対応せざるを得ない状況となっています。一方で、西小・塩尻中では減少が続ぎ、西小では各学年一クラスとなる可能性が生じています。

このため、教育委員会では大門七区のうち、国道19号線より南の地域を西小・塩尻中への通学区とする案を、通学区域審議会に諮問しました。過去からの経過などもあり、現状で賛成は少ないようですが、広く七区住民の考えを把握するためにアンケートを行いたいという考えです。

こうしたことから委員会では慎重に審査し、回収日の延長、諮問の一部修正、審議会の回数の増などを要請して、この補正予算を承認しました。

## 産業建設

### 松本建設事務所との意見交換会開催

市道路線の認定や29年度一般会計、水道事業会計、下水道事業会計及び農業集落排水事業会計の補正予算の審議を行い、原案どおり承認することに決定しました。

特に、水道事業会計の補正予算については、吉田地区配水施設整備の進捗に合わせ、収入では下水道事業債を10億8千800万円減額し、工事負担金収入を6億8千200万円増額し、支出では工事請負費を3億6千万円減額しました。

その後、松本建設事務所を訪問し、市内で展開されている県事業のうち、10事業の進捗状況と今後の計画等について、所長と関係課長を交えて意見交換を行いました。この中で、地震発生等による土砂崩落災害に備える為に砂防事業を6力所実施しているとの説明を受けました。

また、用地問題等により事業の進捗が遅れている個所について、情報交換や事業協力についての要望をいただき意見交換会を終了しました。



県道整備等の進捗状況を確認 (松本建設事務所)